

「海の日記念」第13回相模湾 江ノ島・葉山ヨットラリー

2017年7月17日:江ノ島ヨットハーバー

帆走指示書 (ヨット種目: 江ノ島会場)

1) 適用規則

本レガッタは、国際セーリング競技規則 (2017~2020)、日本セーリング連盟規程およびこの帆走指示書を適用する。

2) 参加資格

レース公示による。

3) 参加者への通告

参加者に対する通告は、大会本部 (2階大会議室) に設けられたレガッタの公式掲示板に掲載されるか、又は艇長会議の際に通告する。

4) 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、艇長会議以前に大会本部掲示板に掲示し、艇長会議の際に通告する。

5) 陸上で発せられる信号

5.1 陸上で発する信号は、08:00~17:00の間にクラブハウス2階テラスのフラッグポールに掲揚される。

5.2 AP旗が陸上で掲揚された場合、レース信号AP中の「1分後」を「20分以降」と置き換える。

6) レース日程は次の通りとする。(実施: 1レース)

艇長会議 (2階大会議室)	09:30	
レーススタート予告信号		10:55 (第2グループ)
		11:05 (第1グループ)
		11:15 (第3グループ)
表彰式 (予定)		15:00 (予定)

7) グループ旗

第1グループ	:	赤色旗	(YN86以下の艇 高速艇)
第2グループ	:	青色旗	(YN109~87の艇 シングルハンド、普通、トラピーズ艇の一部)
第3グループ	:	黄色旗	(YN110以上の艇)

各グループはレース委員会支給のグループ別リボンをセールのピークに取り付けなければならない。

第3グループ (YN110以上の艇種) は、中間のゲートマーク (ピンクの帯) を時計回りに回航して江の島へもどる。

8) レースエリア

レースエリアは“**A海面**”から鎌倉・逗子・葉山沖とする。

9) コース (コース図参照)

- 江の島沖スタートラインから、風上500m程度に第1マークを設置する。葉山沖に第2マーク (回航マーク) を設置する。中間ゲート (稲村沖) は第1マークと第2マークを結んだ線上の中間点に設置される。第1マーク回航し葉山方面に向かい、必ずゲート (1隻の運営艇とマークの間) を通過してから葉山の第2マークへ向かう事。
- 第1マークとゲートの間、およびゲートと第2マークの間に各々2箇所にコース方向を示すオレンジ色の案内ブイを等間隔で設置する (案内ブイの間隔および形状はコース図を参照)
- 葉山の第2マーク回航後は江ノ島方面へ向かい、必ずゲートを通過して江ノ島沖の第1マークを回航し、スタートした位置に設置されたフィニッシュラインへ戻る。
- 風向により、第1マーク回航は「時計周り」或は「反時計回り」になる。回航方向はスタート時に本部艇に示される。第2マーク回航は、「反時計回り」である。
- コースの短縮は次の要領で行う
 - 第2グループがスタート後から50分間経過後にゲートボートにL旗を掲揚した場合は、ゲートより葉山側にコースを閉じた事を意味し、この時点でゲートへ達していない艇は、ゲートの一端のマーク (ピンクの帯) を反時計回りに回航して江ノ島の1マークへ方向へ戻り、1マークを回航してフィニッシュラインへ戻る事。
 - 風速によって、葉山の第2マーク回航後の帰路のゲートでフィニッシュを取ることもある。この場合、ゲートの運営艇にS旗を掲揚する。

10) マーク

江の島沖の第1マーク、葉山沖の第2マーク及びゲート端のマークは**オレンジ色の長い円筒形**のブイである。ブイには**ピンク色の布の帯が巻かれている**。1マークとゲートの間および、ゲートと2マークの間に設置されるコース方向を示す案内ブイはオレンジ色の円筒形であるが、マークのブイより高さが**半分 (短い)**で直径が大きい**形状 (寸胴)**を使う。案内ブイは1kmの間隔で設置されている。

ゲートマークで折返しの艇種 (第3グループ及びアクセスディンギー) は、ゲートを越えてゲート端のピンクの帯のマークを回航して江の島方位面に戻る。

11) スタート

- スタートはレース・コミッティーボートのオレンジ色の旗を掲げたポールとアウターマーク (オレンジ色の長

い円筒形)の間とする。スタートおよびリコール信号は、スターボードの端となるレース・コミッティーボードから発せられる。

- ② レースは、規則 2.6 に従いスタートする。

予告信号掲揚 (5 分前)	グループ旗(掲揚)	音響 1 声
準備信号掲揚 (4 分前)	P 旗または I 旗または U 旗あるいは黒旗(掲揚)	音響 1 声
準備信号降下 (1 分前)	P 旗または I 旗または U 旗あるいは黒旗(降下)	音声 1 声
スタート	グループ旗 (降下)	音響 1 声

- ③ 準備信号がまだ発せられない艇は、スタート・エリアから離れ、準備信号が発せられたすべての艇を避けなければならない。

- ④ スタート信号から 9 分以内にスタートできなかった艇は DNS とされる。

12) リコール

- ① リコールの場合には、『X 旗』が音響 1 声と共に揚げられる。スタート信号から 9 分以内に正しいスタートできなかったヨットは、OCS とみなされ、**13) 項の 5%ペナルティを所要時間に加えられる。**

- ② ゼネラルリコールは第 1 代表旗が音響 2 声と共に揚げられる。この信号が発せられた時には、新しい予告信号は第 1 代表旗が降下した 1 分後に音響信号 1 声と共に揚げられる。

13) 5%ペナルティの実施

リコールを解消しない艇 (OCS) に対しては、フィニッシュした所要時間に対し、5%の時間をペナルティとして加えた時間で修正時間を計算する。

14) フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、オレンジマークとレース・コミッティーボードのオレンジ旗を揚げたポールの間とする。フィニッシュ・ラインを設定するコミッティーボードは青色旗を揚げる。フィニッシュは 1 マークの方向からフィニッシュラインを横切る事。

15) タイムリミット

タイムリミットは**第 3 グループスタート後 160 分**とする。それ以前にスタートしたグループのタイムリミットは第 3 グループのタイムリミット時刻と同一になる (本レースは艇速の異なる艇が参加するオープンレースにより第 35 条の適用を修正する)

16) レース中止、再レース

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ① レースの中止再レース (海上待機) | N 旗と音響信号 3 声 |
| ② レースの中止陸上にて次の指示 | N 旗と H 旗と音響信号 3 声 |
| ③ レースの延期陸上にて次の指示 | AP 旗と H 旗と音響信号 3 声 |

17) 抗議

抗議は大会本部で入手し得る書式に記入し、最終艇がフィニッシュ後 1 時間以内に大会本部に提出しなければならない。

18) 得点

- ① 各ヨットの順位はレース所要時間をヤードスティックナンバーで除した修正時間により決定する。各ヨットのヤードスティックナンバーは別に掲示する。
- ② 同一修正時間のヨットは、ヤードスティックナンバーの大きい方のヨットが上位とする。
- ③ コース短縮をされた艇は走行距離で修正してから修正時間を算出する (ゲートマークを通過しない艇は順位の対象にならない)

19) 失格に代わる罰則

競技規則 44.1. 44.2 (720 度回転の罰則) を適用する。

20) 帰着の確認

出艇、帰着申告書の記入により、出艇及び帰着を確認する。

21) 賞

ヤードスティックナンバーで修正時間による順位で総合成績第 1 位から第 8 位までのディンギーに賞が与えられる。

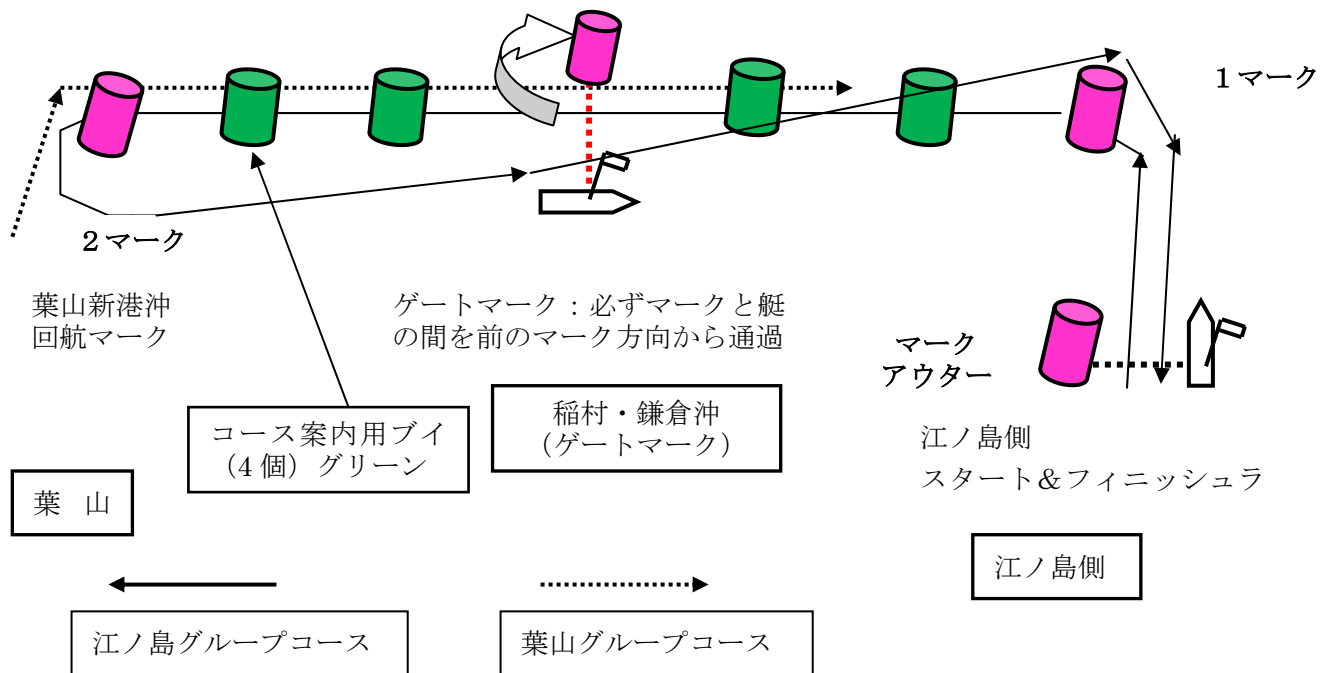
22) 安全

- (1) ライフジャケットはハーバーより出港し帰着するまで必ず着用していなければならない。
- (2) 同一コースで異なる艇種が走行している故に、海上衝突防止法に基づく航路の優先権は絶対に遵守すること。
- (3) 安全に関する一切の責任は、各参加者に有り、レース委員会の故意、又は作為による事故以外はレース委員会には責任を負わない。またレスキュー活動は人命救助を目的とするため、艇体を放棄することもある。安全の立場から、レース委員会の判断でレースを中止することも有る。
- (4) コース中にある**障害物 (定置網、蛸壺、刺し網) 等**は各艇の判断で回避する事。

23) 環境

レースの参加者は、日本セーリング連盟の環境クリーンキャンペーンに協力し、ゴミは持ち帰り、海を汚さないようにお願いします。

2014年江ノ島・葉山ヨットラリー（ヨットコース図）



レースコースの説明

- 1 マークは江ノ島 A 海面の沖に設置
- 2 マークは葉山新港の入り口岸壁の沖に設置（1 マークと 2 マークの距離は約 6km）
- 1 マークと 2 マークの中間点にゲートを設置、マークと 1 隻のクルーザーの間がゲート。
- 1 マークとゲート、ゲートと 2 マークまでの間に、各々 2 個のコース案内用ブイを設置（各マーク間は約 1km：グリーン色のブイ）
- マーク用ブイはピンクの長い円錐形、案内ブイはグリーンの長い円錐形
- **参加艇は往復とも必ずゲートを通過すること。**
- タイムリミット最後グループのスタートから 2 時間 40 分とし、最後のスタートグループスタート後、50 分経過後にゲートボートに L 旗を掲揚する。それ以後ゲートに達した全ての艇は、コース短縮の扱いとなりゲートマークを通過後、マークを回航して江ノ島側のフィニッシュマークへ戻る（これらの艇は修正時間は帆走距離を考慮して順位を算出される）
- 風速により、葉山の 3 マーク回航後、ゲートでコース短縮する事もある。
- マークの回航は反時計まわり（但し、スタート時に北方向の風の場合、第 1 マークの回航は時計回りになる）。ただし、ゲートで折るかえす艇種は時計回りでマークを回航すること。
- ヤードスティックナンバー 110 以上の艇種は、中間地点のゲートをマークを回航して戻ること。（中間回航マークで折り返しです）
- 中間ゲートの運営艇はピンクの旗をマストに掲げている。1 マーク、2 マーク付近の運営艇も目標となる様にピンクの旗を掲げている。
- ゲートボートの掲げる L 旗を示す。



L 旗（黄色・黒色）